

II 佐藤国際交流賞

佐藤国際交流賞は、佐藤昌氏が社団法人日本公園緑地協会会長、名誉会長として長年に亘り我が国の公園緑地行政の発展並びに海外諸国との専門的交流や東洋、欧米諸国の公園緑地制度等に関する数々の優れた研究著述を通じ、造園分野における我が国の国際的地位の確立に大きな貢献をされたことを記念して、平成4年に設けられております。

第30回佐藤国際交流賞受賞者（敬称略・五十音順）

① ^{みのも} 蓑茂 ^{としたりう} 壽太郎 （72歳）

現 東京農業大学名誉教授
一般財団法人公園財団理事長

受賞理由

氏は、公園計画を端緒に都市農村計画、環境計画と幅広く研究を展開、多くの学術的貢献を積み重ね、長きにわたり造園学の発展、造園界を牽引、人材育成に取り組みられてきた。また、平成25年にはランドスケープアーキテクト連盟（JLAU）初代会長に就任、IFLAジャパンとの統合、IFLA AAPME AWARD 2018審査員、World Urban Parksジャパン副会長、（一社）日本公園緑地協会国際委員会委員長などを歴任されたほか、わが国の造園家、ランドスケープアーキテクトの国際的な地位向上に向けた活動にも積極的に関与され、「国際化と世界水準」をキーワードに地球規模で考え活動するランドスケープアーキテクトの育成など、わが国の造園界の発展に大きく貢献されてきた。

② ^{わだ} 和田 ^{しんや} 新也 （68歳）

現 箱根植木株式会社代表取締役
一般社団法人日本造園建設業協会会長

受賞理由

氏は、箱根植木(株)代表取締役として、国内に限らず、海外工事にも積極的に事業展開され、タイ(チェンマイ)、トルコ(アンタレア)、中国

(北京)など海外の国際園芸博覧会等において、数多くの優れた作品と実績を残されている。また、(一社)日本造園建設業協会の理事として、国際園芸家協会(AIPH)の活動に参画され、平成15年からAIPH副会長、平成19年からは博覧会委員長を歴任され、グリーンシティの活動展開や各国で開催される国際園芸博覧会の開催調整等の国際的活動に携わられた。現在、AIPHの日本代表である(一社)日本造園建設業協会会長として、また(一社)2027年国際園芸博覧会協会の理事として、国、横浜市と連携し、横浜市で2027年開催予定の国際園芸博覧会の招致、支援活動にご尽力されている。